

第3回セミナーを6月20日(土)13:30～15:30 に開催しました。参加者の皆さんよりお預かりしたリフレクションをまとめました。

会 場 愛知文教大学 201教室

テ ー マ 「学びを楽しむ授業づくり・学校づくり」

授 業 者 江南市立草井小学校 湯藤 俊太 先生

コメンテーター 学び合う学び研究所フェロー 林 文通 先生

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「学び合い」を授業に取り組んでいく上で、一人の教員だけでなく、校長はじめ多くの先生方と取り組むことの大切さを参加者の様子から想いました。

授業中の子どもたちの表情がよく、見ていてもワクワクする時間が多くありました。日頃の授業者の学級経営・教科経営の成果だと思います。協議会でも、「学び合う」ことについていろいろな角度からの意見を聴くことができ、多くの学びがありました。最後のコメンテーターのまとめにも、うなずける部分が多くあり、今後の参考にしていきたいと感じました。授業者、コメンテーターの方に感謝申し上げます。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、運ではなくて、ちゃんと頭で整理してできるということ。全員が頭の中だけでできる。と伝えていることです。

林先生の言われたやってみる、挑戦してみるものの大切さ。私は授業で子どもがうまく課題を解決できないと、次時まで、よい足場のかけ方を模索する、という取り組みになっていた。授業の中で「何か困ったことない？」とまずは聞いてみよう、と思った。最近、いきなりジャンプ課題、という取り組み方をしていたが、共有の課題、ジャンプ課題、と組み立て直そうと思った。湯藤先生のような授業に対して情熱をもって取り組まなくてはならない。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「分からない」を大切にすることです。

学校として1年という短い期間での挑戦で、学び合いの形が作られつつあることは素晴らしいことだと思います。「分からない」を大切にすることは、口にするのは簡単ですが、いざ授業で実践しようとするとは簡単ではありません。分からないことは恥ずかしいこと、これを払拭することは並大抵ではないからです。しかし、これを越えることこそが学び合う学びの壁とも言えます。それには、「分からない」と言ってくれた児童が起点となって、みんながもっと深く分かるようになったというシーンを演出して大いに褒めること、これに尽きるように思います。授業はじめの子ども達の意欲に満ちた溢れる笑顔は素晴らしく、きっとこのクラスなら、すぐにでも成長できると確信しました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、やってみないとわからない、私たちも子どもも学びたい学びです。

林先生、湯藤先生ありがとうございました。

湯藤先生の挑戦、校長先生、教務主任の先生、同僚の先生方の支えと学びに、いろんな温度を感じました。

梅雨なのに、爽やかな風も私にそよそよ吹きました。ありがとうございます。同じグループの先生方や仲間との対話や林先生のビデオのまなざしと講義も最高でした。低いトーンで始まり、ジャンプの課題でさらにトーンが下がり、定石の大切さを再認識。

来年度？のセミナーの構想もふっと浮かんできました。何度も反復して視聴して、もっと「見える」ようにになりたいなあ。来月もよろしくお願いします。

今日は、セミナーに参加させていただき、協同的な学び形態の授業の中で、いかにして、孤立したり、後ろ向きなったりする生徒に気付く、フォローしていくのかです。

協同的な学びであるか否かに関わらず、授業の中で、孤立したり、後ろ向きな生徒が、上級学校で、早い段階から後れを取っていく生徒と重なる。

上級学校の教師の視点から、このような生徒は、例えば、いつまでたっても、いくら指摘をしても、割り算を分数に変換して計算するように自分を変えていくことができない（しない）というように、独自の殻からなかなか抜け出せない。

そこで、小学校の先生から、授業中に、「中学校の先生は～～のようなことで困っているんだよ。だから、今日勉強する授業の内容をしっかりと身に付けておくと、中学校へ行って、

自分を助けることになるよ。」といった声掛けをしていただくことが、生徒の動機づけに一役買うのではないと思うのですが・・・。

授業に関して、小学校と中学校の先生間の交流の必要性を感じるのですが・・・。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、「わからない」「教えて」が言える環境づくりです。

貴重な学びの場をありがとうございます。1 班の B さんに対して、37D「組み立てたら？だから、組み立てて、ここの答えをまず出してさ・・・、・・・。」からプリントの展開図のまま考えるのではなく、組み立てて考えることを提案していました。そこで、B さんは、48B「向かい合う面」について述べていることから、組み立てたものをイメージして考えている様子が窺えました。この場面から、B さんが「わからない・教えて」と発言しているかは確認されませんが、少なくとも B さんが困っている様子を周囲が理解している（A さんが覗き込む・D さんは B さんに向かって発言している）と考えられます。特に D さんが B さんのつまずきに対して、寄り添い、解決方法を提示したことを受け、B さんも思考を止めることなく、課題を解決に向けて頭をはたらかせ、考えたことを周囲と共有しながら学び合っていることがわかりました。

林先生のお話の中で、「わからない」「教えて」が言えないと孤立していくという内容がございましたが、特に 8 班の CC さんが今後どうなっていくのかに興味を抱きました。また、最後にありました協同的問題解決が日本人は得意かもしれないという部分が非常に興味深く、国よる気質の違いが学び方にも影響を及ぼすという新たな視点を得ることができました。参加させていただき、ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、わからないの声の出せる学級、学校作りです。

貴重なお話、授業を見させていただきありがとうございました。

学び合いにおいて、子ども同士が支え合う関係が改めて大切だと気付かされました。「わからない」の声を大切にするためにも、声の出しやすい雰囲気、安心感を育てていきたいと思いました。そのためにも教師が教材、児童同士のつながりを日々意識して授業を行っていきたいと思いました。また算数においては、規則性を見つけることが大切にして、共有、ジャンプと設定していきたいと思いました。多くのことを学ばせていただき、ありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、教師が挑戦し続けることの大切さです。

学びの機会をありがとうございました。

育休を経て現場に戻ったものの、育短で働いていることもあり、なかなか他の先生の授業も見られず、学びの場に行くこともできず、私の授業はこれでいいのだろうかと思いながら過ごす日々でした。

久しぶりに学び合う学びを实践されている先生のビデオを見ながら学ぶことができ、本当に嬉しかったです。子どもたちが課題に夢中になっている姿を見て、こんな日々を教室の中で積み重ねていければ、大人になってからも自分の好きなことを探究し続けられる人になる！

できない、分からないが認められる、安心感のある人間関係の中で育つことができれば、どんなことにもチャレンジしてみよう！と思える人になる！

改めて、学び合う学びって素敵だなあと感じる事ができる時間でした。

自分を振り返ってみると、反省ばかりですが、子どもたちから学びながら少しでも良い授業ができるように頑張ります。

貴重な学びの機会をありがとうございました。

今日のセミナーで学習した中で重要だと思ったことは、映像による授業視聴の視点からの気づきです。

実際に参観したことで、教師の授業づくりへの探究心が同僚に及ぼす影響を感じていたが、本セミナーに参加して改めて学校経営において授業づくりこそ中心に据えるべきことと感じた。学びに夢中になる子どもの姿に向けて、自校は教師が掘り起こそうと必死に動き

話す姿が多い。よかれと思ってやっている。子どもの声を聴くこと、子どもの内からでた言葉でつくりあげること気付くためには、まずはそれが成されている授業を参観していくこと。手立てを考えていきたい。まずは少数の教師から・・・。

今後の授業研究と協議の在り方についても検討したい。